

News Letter

2019.12

Vol. 19



Contents

- 医学部4年生
キャリア教育講義実施
- メンター募集
- 男性医師育休取得インタビュー
- お知らせ

レポート

医学部4年生

「医師のキャリアとワークライフバランスを考える」講義

午前の部

10月30日（水）挟間キャンパス臨床中講義室にて、医学部4年生を対象に「医師のキャリアとワークライフバランスを考える」と題したキャリア教育の講義が開催されました。

今年で4回目を迎えるこの講義は、「卒業後、様々なライフイベントや岐路に立たされた時に、自らのキャリアの形成や、ライフとの兼ね合いをどのように選択していくのか」を学生自身に考えてもらうことを目的としています。これまでは午後からの半日でしたが、今回からは、1限から4限までのまる1日を使った講義となりました。

講義の初めに学内の3人の先生方から、現役医師のキャリアロールモデルとしてのお話を伺いました。最初は心臓血管外科教授の宮本伸二先生より、心臓血管外科に入局をしたところのお話から留学に至った経緯、医局での女性医師支援等、沢山の内容をお話いただきました。

続いて2番目に救命救急センターの松成修先生より、救命救急を目指したきっかけや救急センターでの仕事内容やワークライフバランスについてお話いただきました。

3番目は皮膚科の広瀬晴奈先生です。大学入学前から現在までの歩みを紹介し、仕事と家庭を両立させるためには、お互いの立場を理解・尊重しあいながら夫婦で協力することが大切であると語られました。

先生方のリアルな現場のお話に、学生たちも熱心に耳を傾けていました。



心臓血管外科 宮本伸二先生



救命救急科 松成修先生



皮膚科 広瀬晴奈先生

先生方の講話の後は、グループワークです。学生たちは12のグループに分かれ、チュートリアル室でテーマ別のグループ討論をしました。テーマは、ワークライフバランス、緊急事態への対応、キャリア継続（転勤・留学）の3つとなっており、それぞれグループ毎に出されたキーワードを元に、想定されるシナリオとそれに対する解決策を討論してもらいます。作成したシナリオは午後からロールプレイ形式で発表します。

キーワードの例としては、「研修医の時に結婚・出産をした夫婦」「夫婦共働き・2歳の子供の朝の急な発熱・2人とも県外出身」「若い夫婦・夫が米国留学を希望」です。これらのキーワードをもとに、どんな状況を想定しようか最初は迷っていた学生たちも、討論が進むうちにアイデアが出てきたようで、オリジナリティ溢れるシナリオ作成をしていました。

グループワーク
の様子

インタビュー

大分大学医学部附属病院で働く男性医療人の育休取得についてのインタビューをお届けします。今回は、消化器・小児外科の小川先生にお話を伺いました。

6歳、3歳、0歳の3児のパパ

消化器・小児外科 小川 雄大 先生

Q. 育児休業(以下育休)取得の期間ときっかけは？

A. 育休5日に年次休暇5日をプラスし合計10日間取得しました。
育休を取ったきっかけは、第3子の誕生ということで、妻が上の2人の子どもを気にせず、赤ちゃんのお世話ができればと思ったからです。

Q. ご家族の反応はいかがでしたか？

A. 妻は赤ちゃんのお世話に集中できたと喜んでくれました。
上の子ども達は、女の子・6歳と男の子・3歳ですが、幼稚園や習い事の送り迎えにお父さんが来るのが珍しかったのでよこんでくれました

Q. 職場の反応・理解はどうでしたか？

A. 診療科内で男性2人目の育休だったので、職場の理解は十分ありました。
育休だと休む理由がはっきりしているので理解してもらいやすいと思います。

Q. 最後にひと言をお願いします

A. 普段、見れない子ども達の一面が見れて、とても有意義に過ごすことができました。
これからパパになる男性職員の方にも、育休を取得してほしいと思います。



消化器・小児外科 猪股教授

男性職員の育休取得を
応援しています！

消化器・小児外科では、プライベートと仕事のメリハリをつけて個々のワークライフバランスを充実させるために、計画的に休暇を取るシステム作りをしています。
医局内で年間の休暇予定一覧表を作成し、情報共有しているので、「安心して休暇が取れる」という意識が全員にいきわたっています。
プライベートと仕事のメリハリをつけることで、モチベーションが上がり、よい仕事に繋がっています。こうした環境作りにより、男性職員の育休取得を応援しています。

お知らせ

男性の育児休業について

平成29年4月より男性職員の育児休業制度ができ、男性の育児休業が5日まで有給となりました。
内容等についてお知りになりたい方は当センターまでお問合せ下さい。

お問い合わせ先 TEL：097-586-5715 内線5715

Mail: carsupport@oita-u.ac.jp